

留学体験記

高分子制御合成領域 山子研究室 D3 藤田健弘

今回、平成26年度化学研究所若手研究者国際短期派遣事業の支援を受け、7月1日から9月30日の期間にアメリカ・ノースダコタ州立大学のMukund.P.Sibi教授の研究室に短期滞在させて頂きました。ノースダコタ州立大学はノースダコタ州ファーゴに位置する、緑豊かで広大なキャンパスを持つ総合大学です。研究室ではルイス酸を用いた立体選択的ラジカル反応の開発に携わり、立体選択的ラジカル反応の真髄を学ばせて頂きました。また、同じ有機合成系の研究室とは言え、日本とアメリカでは実験器具に関する文化が異なるため、非常に新鮮な気持ちで実験をすることが出来ました。

一方、研究室生活よりも研究室外での生活が不安だったのですが、同じ化学系の大学院生たちが積極的に遊びに誘ってくれたおかげで寂しい思いをせずに済みました。テニス、釣り、射撃、バーベキュー、ドライブなど、毎週末何かしら予定が入っており、非常に濃厚な週末を過ごせました。また、アメリカは日本よりもビールの値段が安く、実験が終わった後、仲良くなった大学院生たちとビール片手に化学について語り合うなど研究以外の面でも充実した毎日を送ることが出来ました。最後になりましたが、このような貴重な機会を与えてくださった化学研究所及びノースダコタ州立大学の関係者各位に深く御礼申し上げます。



研究室のメンバー達と